

千葉県総合計画 骨子(案)

第1章 計画策定の基本的な考え方

- ・ 策定の趣旨： 人口減少社会の到来や世界同時不況の発生など、かつてないほど困難な課題に直面している中、私たちは課題を乗り越え、光り輝くちばを築いて次世代に確実に引き継いで行かなくてはならない。
それには、中長期的な視点に立って県政を運営する必要があることから、本県のあるべき姿とこれを実現するための取組を示す、新たな総合計画を策定する。
- ・ 意義： 県政全般に係る最上位の基本的かつ総合的な計画
- ・ 構成： 基本構想及び実施計画の2部構成
基本構想は、10年後の本県のあるべき姿とこれを達成するための目標と政策の方向性
実施計画は目標を達成するために、平成22年度～24年度までの3か年で重点的に実施する取組

第2章 千葉県が目指す姿（基本構想編）

1 時代背景と課題

- 人口減少・少子高齢化：人口減少に伴う需要・供給の縮小、社会構造の変化に対応した持続可能な社会システムへの転換、少子高齢化に伴う福祉ニーズの増大、高齢化社会におけるライフスタイル 等
- 経済・社会のグローバル化：各産業における世界規模での競争の激化、研究開発型企業や新たなビジネスモデルによる事業展開、成田空港の機能拡充、国際交流都市づくり、多文化共生社会の実現 等
- 安全・安心：県民意識の高まり、食の安全・安心の確保、医療・福祉対策の推進、健康づくりの推進、交通安全対策の推進、防犯対策の推進、防災対策の推進、危機管理体制の確立 等
- 環境保全：地球温暖化に対する取組、資源循環型社会の確立、産業廃棄物の適正処理、良好な大気・水環境の保全、豊かな自然環境の保全、野生動植物の保護・管理と外来生物対策の推進 等
- 地方自治：危機的な県財政、地方分権改革の推進（権限移譲等）、県民等との連携・協働、分権型社会を担う市町村の自主性・自立性の向上 等
- デジタル社会の進展：ネット社会の信頼性の向上、ITの戦略的利活用

2 基本理念

千葉は日本の元気の発信源。首都圏や日本をリードし、すべての県民が「暮らし満足度日本一」を宣言できる千葉を実現します（安全・安心日本一、子育てサポート日本一、教育日本一、経済・活力アップ日本一、環境づくり日本一等）

3 基本目標

- I 「安全で豊かな暮らしの実現」
安全・安心、医療・福祉・健康、環境保全等の方向性について記述
- II 「千葉の未来を担う子どもの育成」
子どもを産み、守り、育てやすい社会づくり、心身ともに健やかな子どもたちを育む教育、青少年の健全育成等の方向性について記述
- III 「経済の活性化と交流基盤整備」
商・工業、農林水産業、観光、県土の基盤づくり等の方向性について記述

第3章 重点的な施策・取組み（実施計画編）

別紙参照

第4章 計画の推進にあたって

- 1 計画推進の基本的考え方
 - ・ 県民をはじめ多様な主体との協働
 - ・ 男女共同参画
 - ・ 市町村の自主性・自立性の向上と連携強化
 - ・ ITの利活用
 - ・ 他の都道府県との連携
- 2 政策評価制度における進行管理
- 3 千葉県の行財政基盤の強化
 - ・ 地方分権の推進
 - ・ 「行政改革計画」及び「財政健全化計画」の基本的な考え